

① 要約：

この IBM の発明は、メタバース上でのグループ活動をまとめるための方法に関するものであり、アバターが一人で参加する場合もあれば、グループとして活動する場合があります。従来のヘッドギアやアクションに慣れていないユーザーにとっては、上手く活動できないジレンマがあり、グループリーダーが企画し設定を行うことで解消します。招待を受けた他のユーザーは、グループリーダーの動きやジェスチャーに追従し、一緒にグループでアクティビティを行うことができます。グループリーダーの権限は譲渡可能であり、メタバース内でアバターの迷子や初心者が容易に参加できるようになります。

② 目的：

この発明の目的は、メタバース上でのグループ活動を円滑に行うための方法を提供することです。慣れていないユーザーにとってはメタバースの移動や活動の制御が難しく、グループリーダーがその役割を担うことで、ユーザーの参加を促進し、アクティビティの統合とまとまりを提供します。

③ 新規性：

この発明は、メタバース内でのグループ活動をリードするための仕組みを提案している点において新規性があります。従来のメタバースでは、個々のユーザーが自己のアクションを制御する必要があり、グループ活動の統合が困難でした。一方で、この発明はグループリーダーが動きやジェスチャーを示すことで他のメンバーが追従する仕組みを提供し、メタバース内でのグループ活動の協調性と効率性を向上させます。

④ 独自性：

この発明は IBM によって提案されたものであり、他の企業や個人が同様の方法を提案した発明とは異なります。IBM はメタバースに関する研究や開発において、早い段階から取り組んでおり、その知見と実績をもとに独自のアプローチを提供しています。

⑤ 経済価値：

この発明は、メタバース上でのグループ活動を円滑に行うための独自の方法を提供しており、そのため経済価値があると言えます。メタバースの人气が高まる中で、グループ活動の需要も増えており、この発明によって活動の効率性や統合性が向上することで、ユーザーの利用体験が向上し、ビジネスやエンターテインメントの分野での活用が期待されます。また、発明権の保有者である IBM にとっても、他社との競合からの差別化やマーケットシェアの拡大につながる可能性があります。